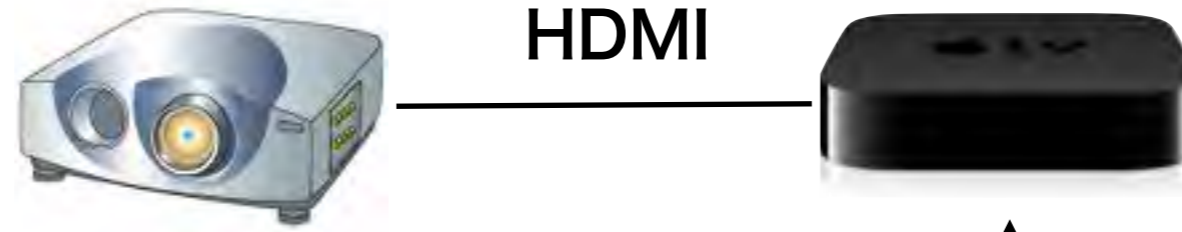


iPadの素晴らしさは
変な発想から生まれます

第2回 東海カンファレンス

NPO法人支援機器普及促進協会
理事長 高松 崇

本日の機器構成



AirPlayミラーリング



Apple WATCH

iPhone6

iPad Air2

Keynote
Remote

自己紹介

主な活動と経歴

●障害者支援（電子情報支援技術（e-AT）と、コミュニケーション支援技術（AAC））

京都市立 呉竹総合支援学校 特別非常勤講師

京都市立 東総合支援学校 特別非常勤講師

京都府 宇治支援学校SSC 特別支援教育京都府専門家チーム

NPO 支援機器普及促進協会 理事長

●教育支援（情報通信技術（ICT）の利活用支援）

京都市 携帯電話市民インストラクター

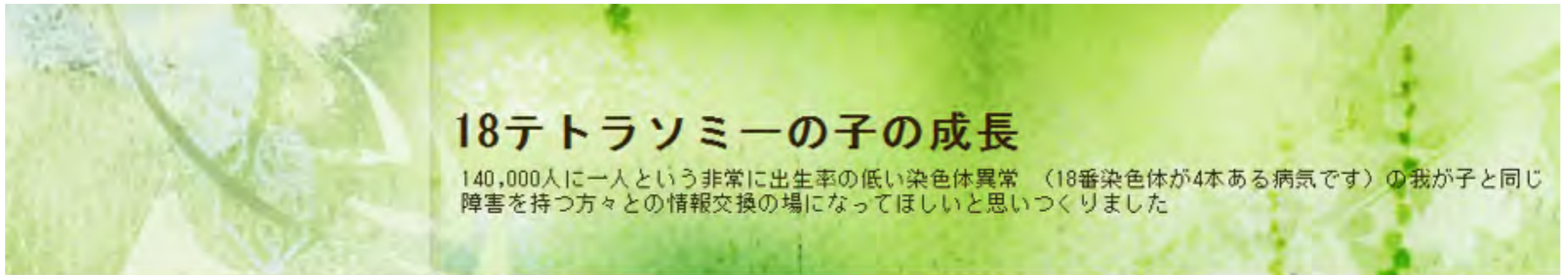
●地域活性化支援（ITを活用した経営改善・効率化）

京都府高等技術専門校 在職者訓練インストラクター

私も、京都府立向日が丘支援学校 小学部6年生の三男がおります

18テトラソミー

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりしました



18テトラソミーの子の成長

140,000人に一人という非常に出生率の低い染色体異常（18番染色体が4本ある病気です）の我が子と同じ障害を持つ方々との情報交換の場になってほしいと思いつくりしました

プロフィール



プロフィール | なう | ピダの部屋

ニックネーム: [menis18](#)

性別: たかちゃん

自己紹介:

18番テトラソミーという遺伝子障害は非常に

 このブログの読者になる (チェック)

1 | 2 | 3 | [最初](#) [次ページ](#) >>

2010-09-04 11:30:30

最近の「瞭」のようすです

テーマ: [18番テトラソミー](#)

夏休みも明け、楽しく支援学校へ通いはじめました。

以前にも書きましたが、「瞭」は水が大好きです。💧

夏休みには、実家のプールで大はしゃぎ！

学校でもほとんど毎日プールに入れてもらっています。



iPad



iPod Touch

オ

際ワハカ対コハシオカク知ヨリヨシタ。



Wii



PC

夏合宿2016

in 北海道

iPad 虎の穴 2nd

特別支援教育におけるアシティブテクノロジー活用研究会
SEAT (Special needs Education by Assistive Technology)

Produced by 日本支援技術倶楽部

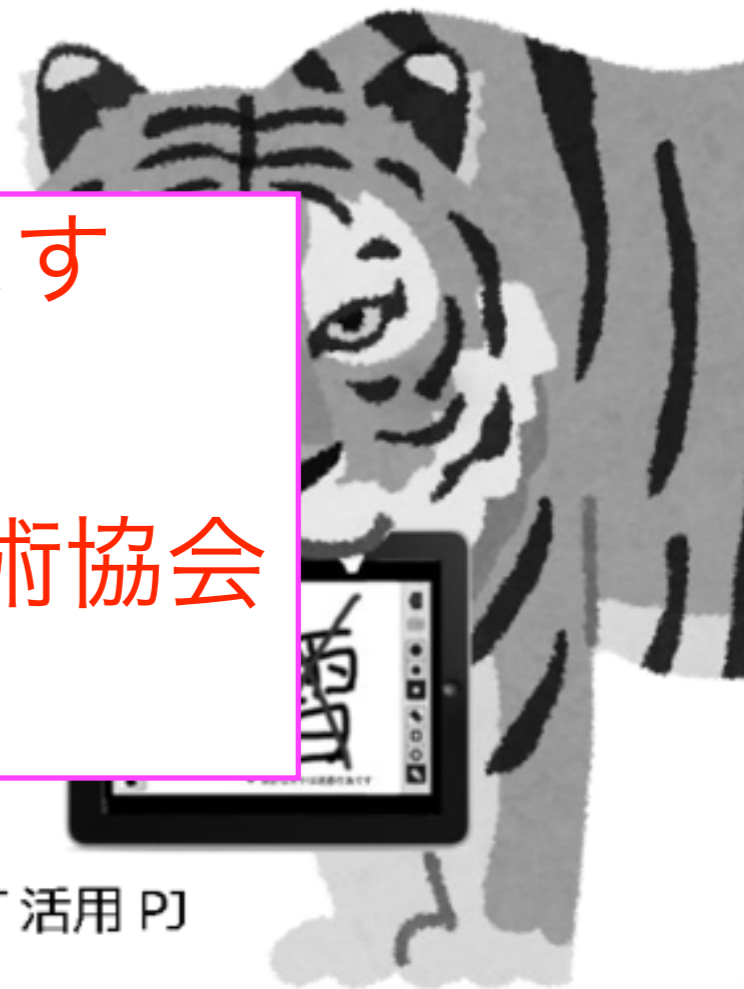
暑い夏。爽やかな北海道で AT の腕を磨く！

- 日程：2016年8月6日(土)～7日(日)
- 場所：な
- 定員：50
- 講師：新
- 参加費：

募集は昨日より始まっています
詳しくは、
一般社団法人 日本支援機器技術協会
のサイトをご覧ください。

- 主催：日本支援技術倶楽部 (2016年2月に一般社団法人化する予定)
- 共催：マジカルトイボックス/NPO法人 NEXTDAY/北海道特別支援教育 ICT 活用 PJ
- スケジュール概略：

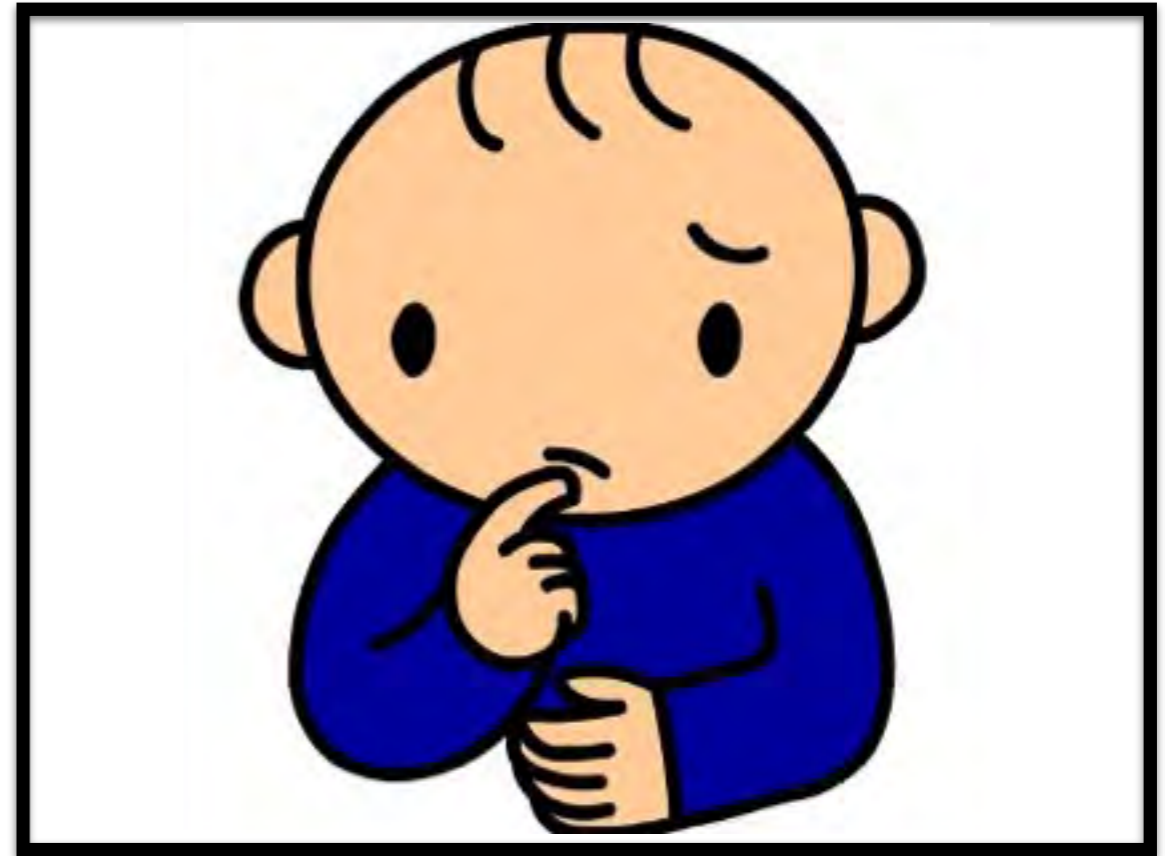
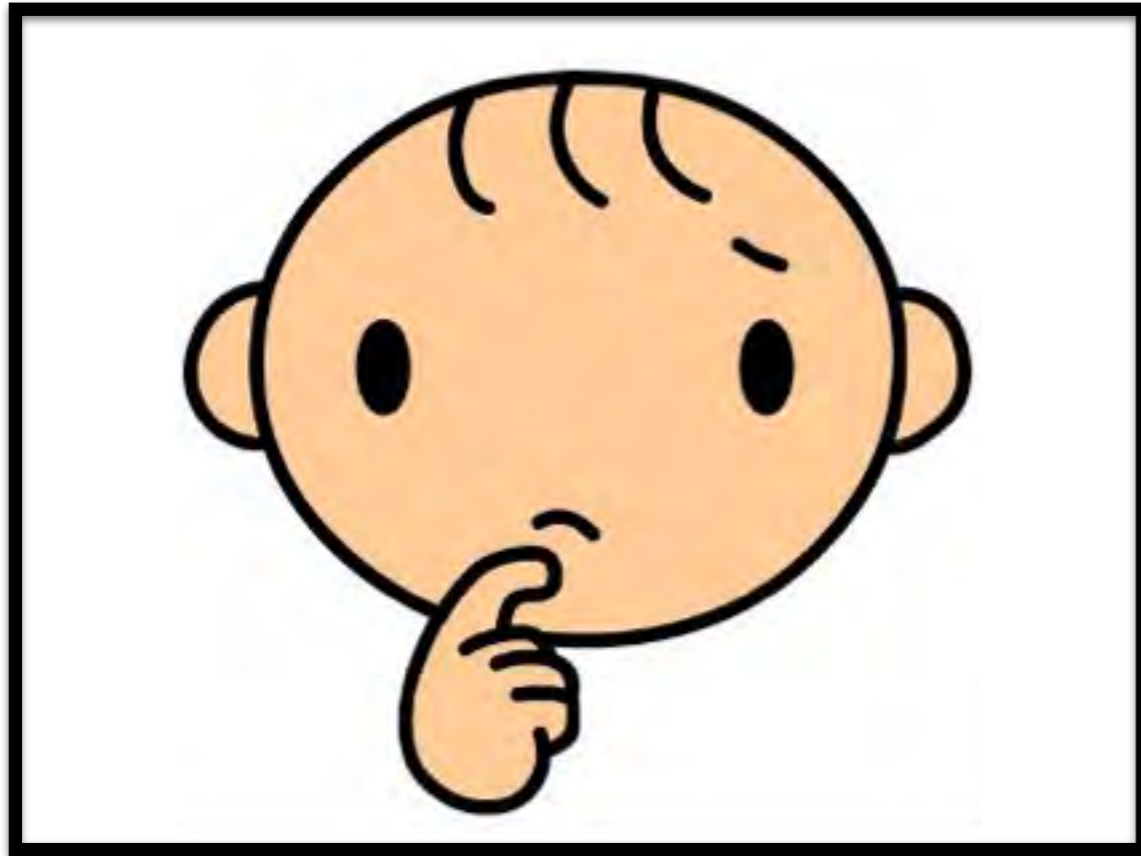
	入門コース	特訓コース
1 日目		
午前	【講義】特別支援教育における iPad 活用 【講義】iPad 活用の最新情報	
午後	【実習】iOS の基本操作	【実習】iOS のアクセシビリティ機能



子どもの視点で

大人がやった気（やってる気）になっ
ているだけじゃないですか？

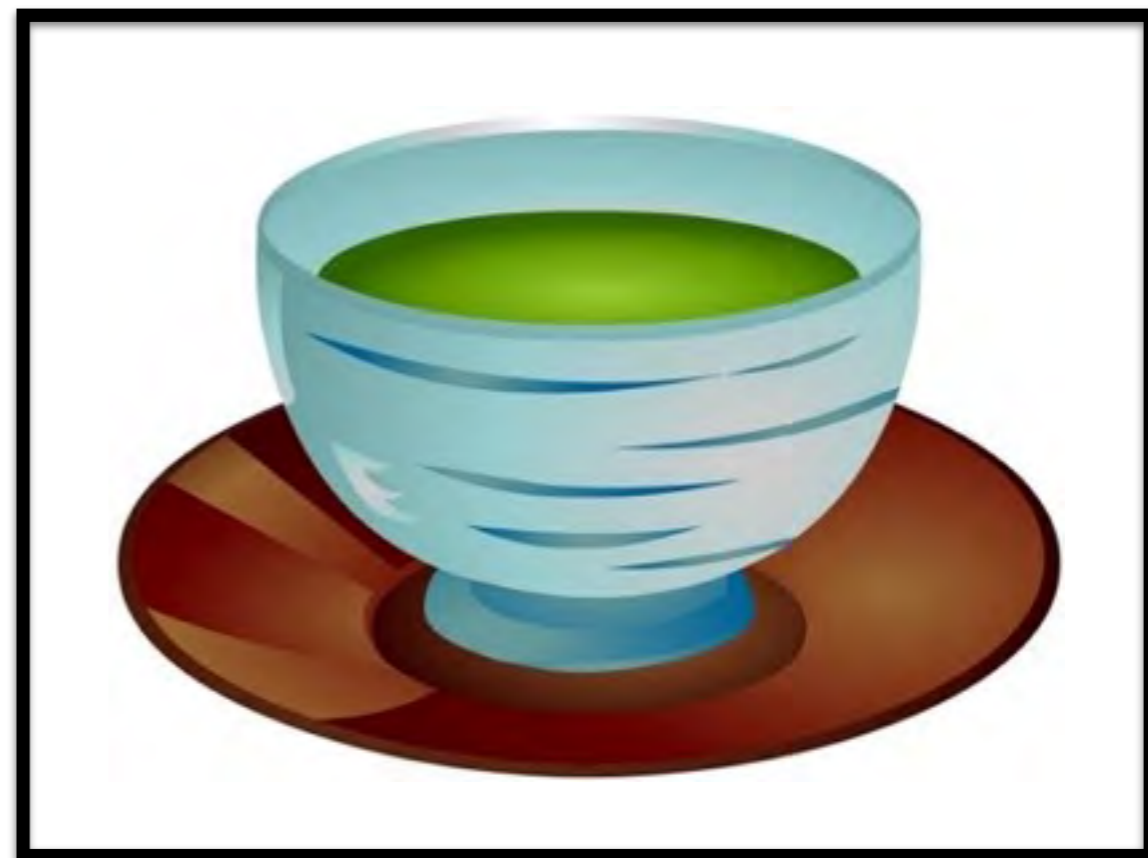
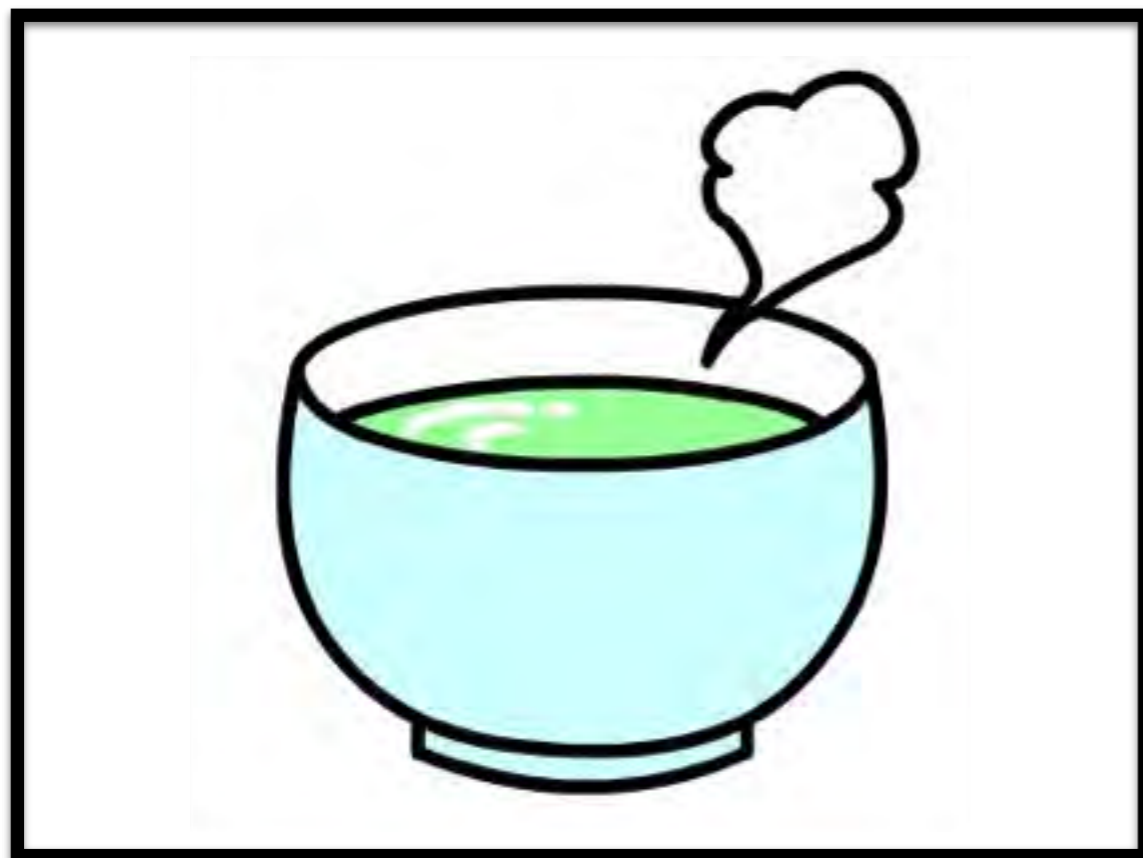
どんな気持ちの時に使えばいいの？



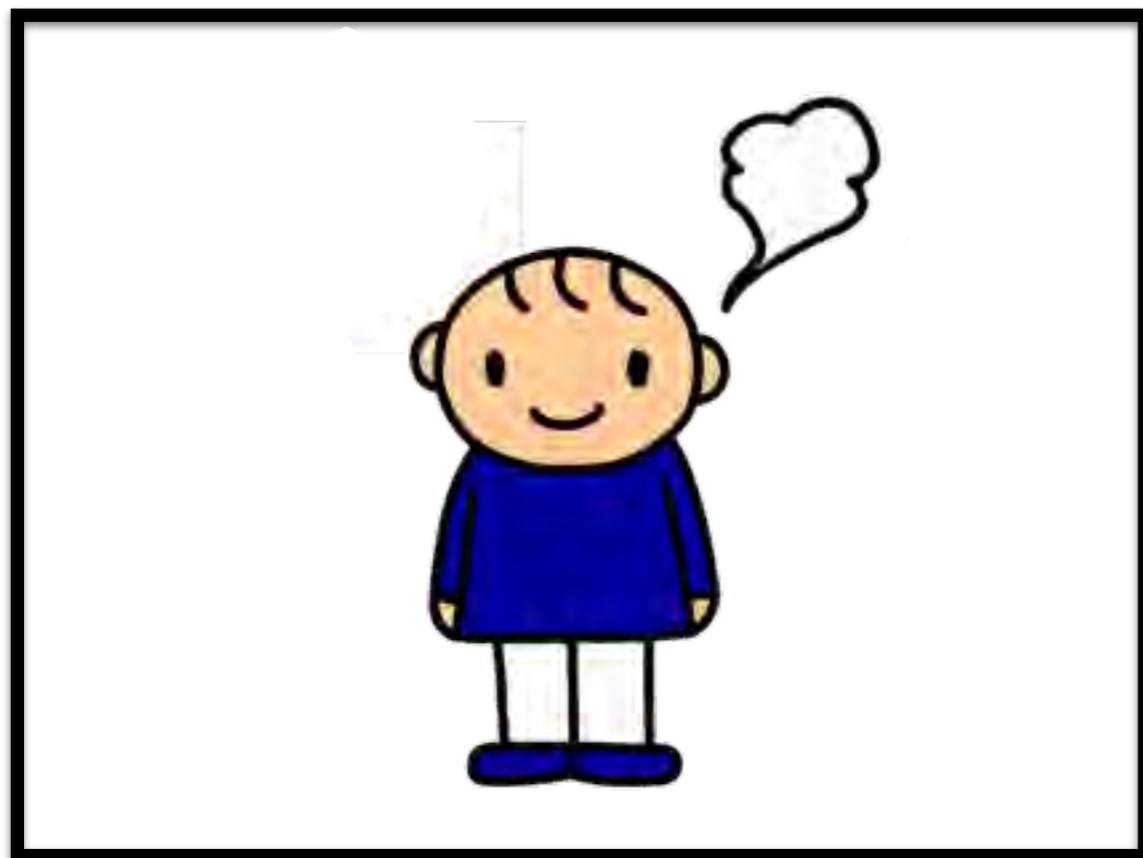
どんなあいさつの時に使えばいいの？



冷たいお茶ください！



同じ吹き出しでも意味が違う！！



これで活動わかる？

1 個別課題学習

2 朝の会

3

4

5 個別課題学習

6 給食

7

8

5月

どちらがやりたい？



職員室に入る時には
「失礼します。」



教室の中で
「先生、こっち来て！」

大人がやらせたい事ではなく、

子どもがやりたい事を！

男の子用



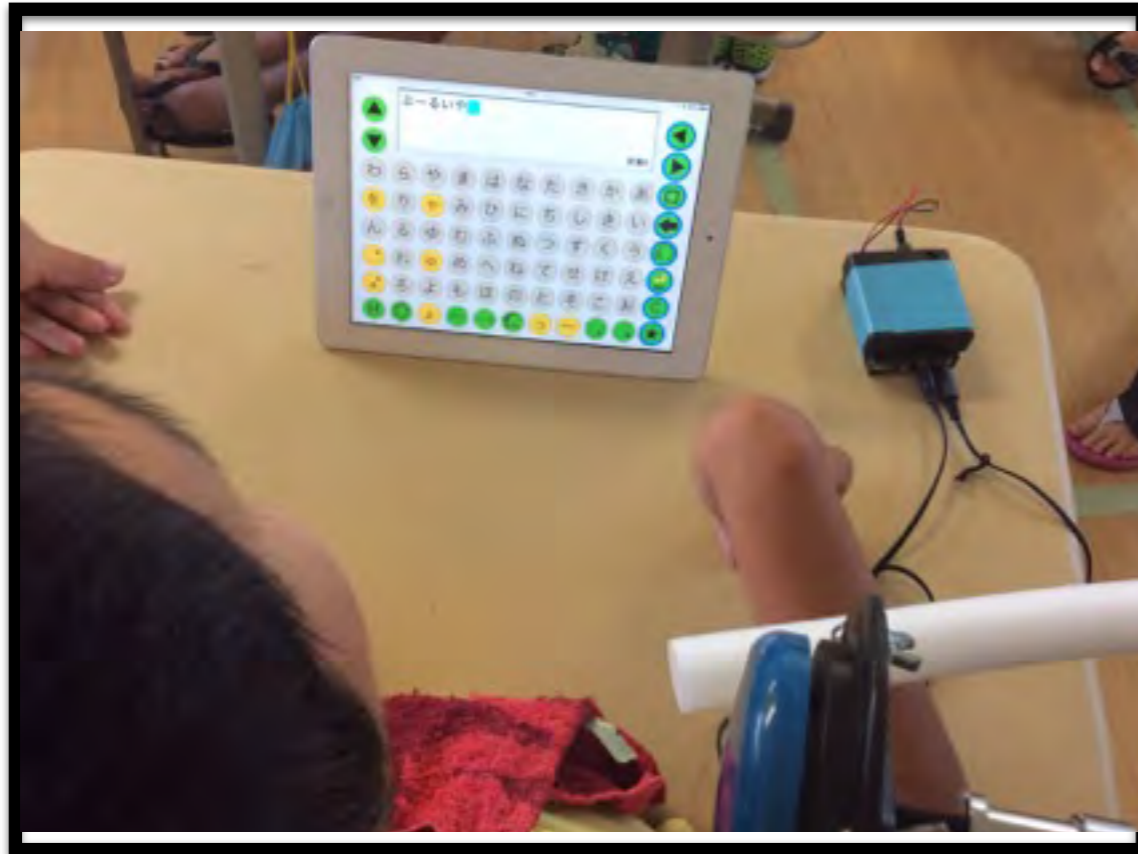
女の子用



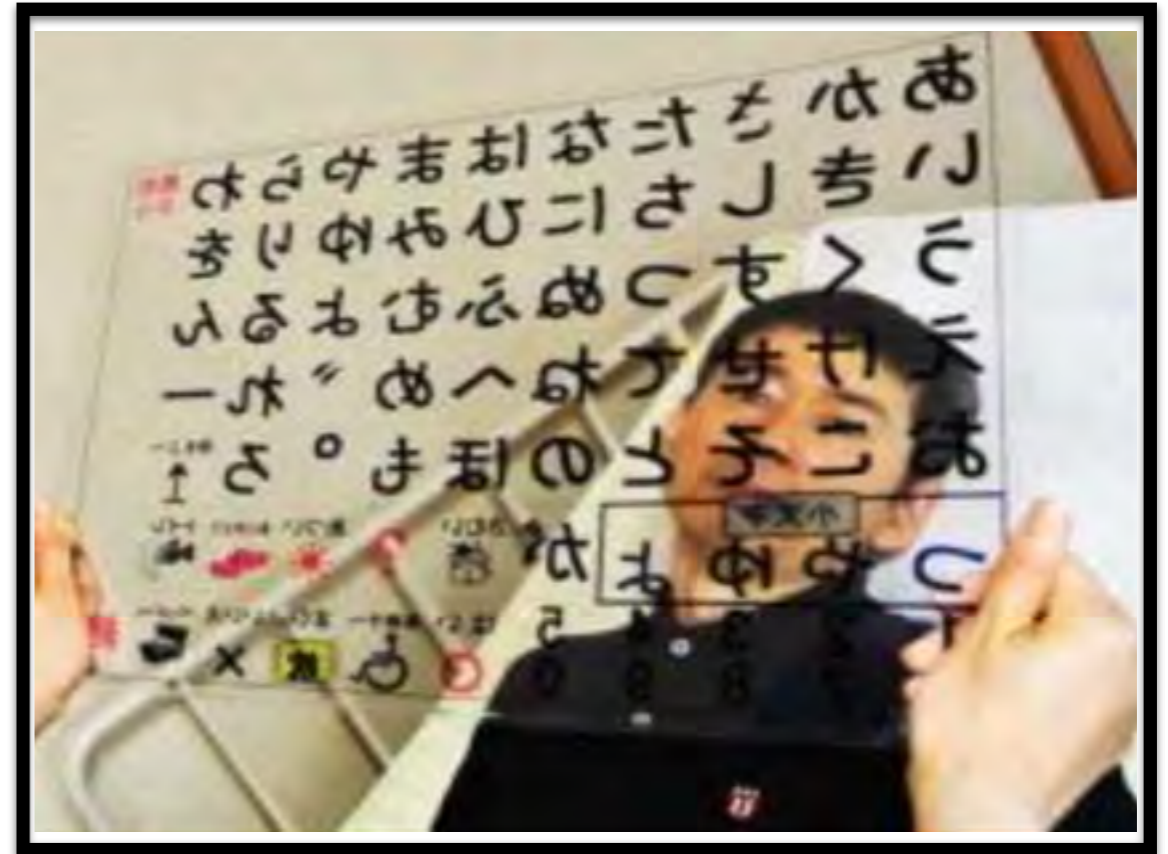
支援者に負荷を

そのやり方がベスト？

どっちが支援が良いの？



数十分かかって
「ぷーるいや」と入力



十秒足らずで
「ぷーるいや」と表示

わらやまはなたさかあ
をり みひにちしきい
んるゆむふぬつすくう
れ めへねてせけえ
ろよもほのとそこお

大人に負荷をかければ、子どもは楽！

子どもに負荷をかければ、大人は楽！



時と場所を
超えられる！

ユビキタス



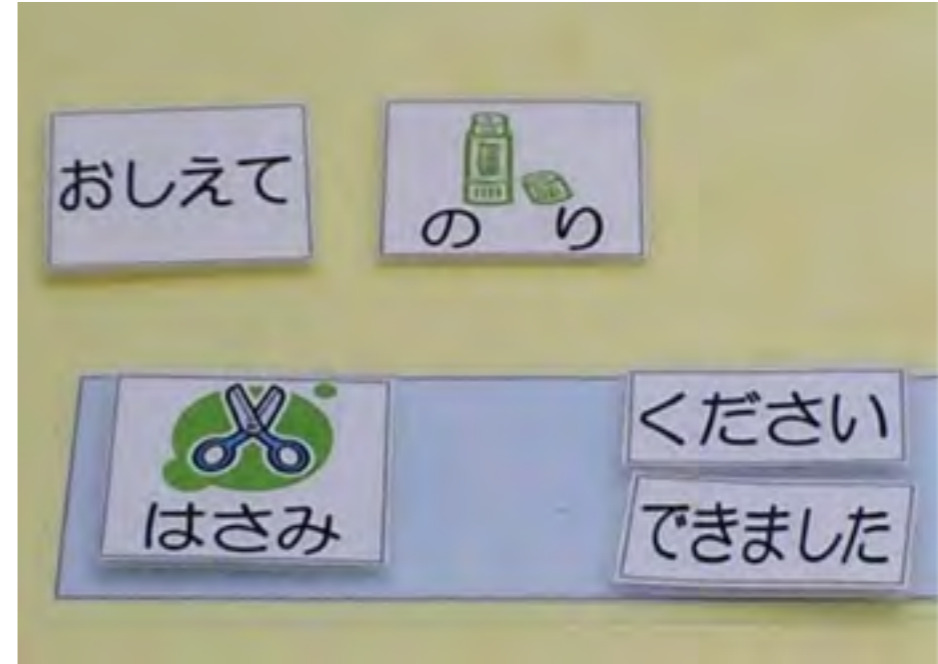
目の前での
コミュニケーションには
必要ないかも・・・

アナログを知らないと、デジタル (ICT)

の良さはわからない！



指さし



絵カード



選ぶ



iPad

多様な選択肢（引き出し）があるから

適切（Better）な支援が提示できる

自由な発想を

iPadを有効に活用するには
柔らかい頭が必要？

作者の意図は無視！



Siriは無情！



音声認識は無情！



手書き認識は無情！



僕にも出来た！



子どもたちに夢を！



子どもたちに恐怖を！



一人で使うという誤解



使い方次第



おもちゃと遊びの支援技術（AT）

- コミュニケーションの原点を考えていくと、子どもにとって**遊びの場面**がととても重要であることが分かります。他者との共感や共有の関係性、模倣やイメージ力の発展、人と物と人との三項関係など、コミュニケーションの基礎的な課題が遊びの場面にたくさん存在しています。
- しかし、重度の障がいのある子どもは、自分から主体的に他の子どもたちと関わって遊ぶような場面がありません。
- そこで、これまで培われてきた多様な支援技術を生かし、ハイテク機器の代わりにおもちゃをつなぐことで、重度障がい児の遊びの場面を拡大、充実させることを試みます。どんなに障がいの重い子どもでも、楽しく遊べるようになれば**興味は広がり**、みんなの仲間に入って活動できるようになれば、自然に**コミュニケーションの力も発達**していくはずです。

楽しさは**忍耐力**を産む

一度やり始めたことは最後までやる

楽しさとは自分で**決断できる**喜び

支援がうまくいかない… とうときは、

「やらせているか」

利用者の方が選択したのではなく
支援者が選択したこと

か

「やりすぎている」

いつの間にか本人の主体性は低下し、
誰のための支援なのかよくわからなくなる



ATDS

Assistive Technology Dissemination Society

NPO法人支援機器普及促進協会

<http://npo-atds.org>